

# (公財) 日本体操協会

## 令和2年度第3回理事会議事録

1. 日 時 令和2年12月17日(木) 18時00分～19時30分

2. 場 所 リモート会議 (Microsoft Teams 使用)

### 3. 出席者 <理事・監事>

#### 出 席

具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、山本宜史(専務理事)、  
遠藤幸一(常務理事)、水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、  
山崎浩子(常務理事)、竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、  
岩瀬史子(常務理事)、米田功(常務理事)、加納実(理事)、加藤裕之(理事)、  
川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、田坂利明(理事)、村木啓造(理事)、  
高橋史安(監事)、竹田幸夫(監事)

理事18名・監事2名

#### 欠 席

二木英徳(会長)、荒木達雄(副会長)、萩原智子(理事)

3名

#### <関係者>

#### 出 席

佐久間裕司(コーチ育成委員長)、渡邊榮(事務局長)、守永直人(事務局)

3名

### 4. 議題

- 審議事項1 「会長推挙委員会」「役員選定委員会」の設置と役員選任の手順
- 審議事項2 体操男子/2020年度ナショナル強化選手選考方法について
- 審議事項3 体操男子/2020年度特別強化選手追加について
- 審議事項4 体操男子/2020年度 U21 強化選手選考方法について
- 審議事項5 体操男子/2020年度ナショナル強化選手・特別強化選手
- 審議事項6 体操女子/東京オリンピック日本代表選考方法①「チーム枠4名の選出」
- 審議事項7 体操女子/東京オリンピック日本代表選考方法②  
[個人枠(2名以内)の選出]
- 審議事項8 体操女子/2021年アジア選手権代表選考方法
- 審議事項9 体操女子/2021年ユニバーシアード大会代表選考方法
- 審議事項10 体操女子/2021年ナショナル・ジュニアナショナル強化合宿予定
- 審議事項11 体操女子/  
第75回全日本体操個人総合選手権トライアウト開催場所・日程の変更

- 審議事項 12 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う役員、理事に関する規則について
- 審議事項 13 2020 年度 協会三賞表彰候補者の件
- 審議事項 14 2020 年度 優秀審判員表彰の推薦について
- 審議事項 15 2020 年度 東西各地の指導者講習会の中止について
- 審議事項 16 全日本選手権・指導スタッフへの資格義務付け延期について
- 審議事項 17 [特例措置] 公認コーチ養成講習会の実施 (JGA 独自事業) について
- 報告事項 1 危機管理対策室活動報告
- 報告事項 2 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う規程の新設について
- 報告事項 3 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う役員、評議員定数目標について
- 報告事項 4 体操男子/2020 年度冬季ナショナル強化合宿について
- 報告事項 5 体操男子/2021W 杯ドーハ大会資格獲得者について
- 報告事項 6 体操男子/2020 年度全日本個人総合トライアウト実施について
- 報告事項 7 第 74 回全日本体操個人総合選手権・種目別選手権 女子審判編成の変更について
- 報告事項 8 各種別 1 種審判員認定講習会・研修会の開催について
- 報告事項 9 審判員に対するコンプライアンス研修会実施報告について
- 報告事項 10 2020 年度 公認コーチ養成講習会 開催中止の件 一事後報告
- 報告事項 11 Friendship and Solidarity Competition 報告 ②
- 報告事項 12 大会解説報告
- 報告事項 13 Friendship and Solidarity Competition 概算収支報告
- 報告事項 14 アクロ体操/活動報告

## 5. 具志堅副会長ご挨拶

オンライン会議になった。友情と絆の大会ではコロナ対策を行って、無事開催できた。内村選手のコメントは感動があった。オリパラに向け体操が貢献できた。全日本を高崎で開催できた。選手強化を進めている。コロナは予断を許さないが進めていきたい。

## 6. 議長選出

定款 38 条第 2 項の定めにより、議長は、具志堅幸司副会長が議長に選出された。

## 7. 定足数確認

出席 20 名で定款 39 条の定足数に達している。

## 8. 議事録署名人

定款 43 条第 3 項にしたがい、出席理事及び監事が議事録署名人になることが説明され、全員異議なく承認された。

## 9. 議事

- 審議事項 1 「会長推挙委員会」「役員選定委員会」の設置と役員選任の手順  
議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

令和3年6月に役員改選がある。役員推挙のメンバーを諮りたい。

会長推挙は 二木会長、具志堅副会長（体操競技）、長谷川副会長（新体操）、山本専務理事（トランポリン）、竹田監事、大島評議員、瀧澤評議員、渡辺守成顧問

役員選定委員会は二木会長（東大）、具志堅副会長（日体大）、竹内副会長（東海大）、長谷川副会長（東女体大）、荒木副会長（日体大）、山本専務理事（大体大）、遠藤常務理事（日大）、竹田監事（筑波大）、瀧澤評議員としたい。

特に、意見もなく、審議事項1は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項2 2020年度体操男子ナショナル強化選手選考方法について**

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

オリンピック、世界選手権の選考方法を提案する予定だったが、1月に提案する。今年度のナショナル強化選手を提案する。

12月の全日本から12名、世界ランキングを超えた選手を4名を提案したい。

特に、意見もなく、審議事項2は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項3 2020年度体操男子特別強化選手追加について**

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

ナショナル強化選手に選ばれなかった選手ではあるが、今年の特別な事情を鑑みて、前年度のナショナル強化選手を特別強化選手としたい。

種目別でメダルが狙えるので、亀山耕平選手を追加したい。

特に、意見もなく、審議事項3は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項4 2020年度体操男子U21強化選手選考方法について**

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

大学生の強化指定を選考した。大学3年以下としている。全日本から6名、全日本インカレから6名の12名となっている。

以上の質疑の後、

特に、意見もなく、審議事項4は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項5 2020年度体操女子ナショナル強化選手・特別強化選手**

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

2020年度の選手となる。全日本から12名と協会推薦、有力選手の15名を選んだ。  
特別強化選手は練習ができなかった事情があるので、2019年のナショナル強化より選抜した。

遠藤理事 特別強化選手という名称でよいか？

田中本部長 よい

加納理事 女子も3月までの期限付きか？

田中本部長 3月までとなる。

特に、意見もなく、審議事項5は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

**審議事項6 東京オリンピック体操女子日本代表選考方法① 「チーム枠4名の選出」**  
議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

竹内副会長 アジア選手権の日程は検討中となっている。

遠藤理事 AGUホームページは6月の枠になっている。

田中本部長 5月開催を前提で作っている。

遠藤理事 男子も先送りになった。継続審議にすべき

竹内副会長 継続で賛成

水鳥理事 継続で同意。男子も再検討したい。AGUに折衝することは可能か

竹内副会長 できると思う。JGAから問い合わせをお願いしたい。

以上の質疑のち、審議事項6は、継続審議で承認・可決された。

**審議事項7 東京オリンピック体操女子日本代表選考方法②[個人枠(2名以内)の選出]**  
議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

審議事項6と同じく理由により、審議事項7は、継続審議で承認・可決された。

**審議事項8 2021年アジア選手権代表選考方法(体操女子)**

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

審議事項6と同じく理由により、審議事項8は、継続審議で承認・可決された。

**審議事項9 2021年ユニバーシアード大会代表選考方法(体操女子)**

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

審議事項6と同じく理由により、審議事項9は、継続審議で承認・可決された。

**審議事項10 2021年ナショナル強化合宿・ジュニアナショナル強化合宿予定(体操女子)**

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

資料の通り計画した。

特に、意見もなく、審議事項 10 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

**審議事項 11 第 75 回全日本体操個人総合選手権トライアウト開催場所・日程の変更  
(体操女子)**

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

2 月に開催予定であったが、NTCでの利用制限が入ったため、日時場所の変更して開催したい。

特に、意見もなく、審議事項 11 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

**審議事項 12 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う役員、理事に関する規則について**  
議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

ガバナンスコードに合わせて変更している。再任回数を 3 回と再任期間として 1 期 2 年以上を開けることを提案する。

山本専務 令和 5 年から順守を目指したい。13 項目を適合審査に合わせるように準備している

特に、意見もなく、審議事項 12 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

**審議事項 13 2020 年度 協会三賞表彰候補者の件**

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

今年大会がなかったため、栄光賞はなしとした。平沼賞においては地域委員長などを歴任された小竹英雄さんを推薦したい。

特に、意見もなく、審議事項 13 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

**審議事項 14 2020 年度 優秀審判員表彰の推薦について**

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

世界選手権から推薦していたが、世界大会がなかったため、昨年の実績を見て、鈴木あおいさん、武藤真也さん、体操では今年の大大会と長年の実績から倉島貴司さん阿部恵子さんを推薦した。

特に、意見もなく、審議事項 14 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項 15 2020 年度 東西各地の指導者講習会の中止について**

議長の指名により、佐久間裕司コーチ育成委員長は下記の説明を行った。

講習会で密となってしまう、今年の講習会を中止としたい。

特に、意見もなく、審議事項 15 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項 16 全日本選手権・指導スタッフへの資格義務付け延期について**

議長の指名により、佐久間裕司コーチ育成委員長は下記の説明を行った。

指導スタッフの資格の義務付けを行うこととなっていたが、講習会が中止となったため、2023 年から 2024 年からと延期したい。

特に、意見もなく、審議事項 16 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **審議事項 17 【特例措置】公認コーチ養成講習会の実施（JGA 独自事業）について**

議長の指名により、佐久間裕司コーチ育成委員長は下記の説明を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、12 月開催を中止した。栃木国体の監督が、講習会中止となったため資格を得ることができなくなった。実技が免除になる資格を持っている。講義とレポートで補えそうなので、特例でオンライン開催を行いたい。

山本専務 スポーツ協会から承認はもらえるのか。  
佐久間委員長 スポーツ協会から確認はとっている。

以上の後、審議事項 17 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

#### **報告事項 1 危機管理対策室活動報告**

議長の指名により、竹内輝明副会長は下記の説明を行った。

資料の通り活動を行った。

11 月に大学で感染者が出て、大学の活動が中止となったため大学内の対策が出た。高校選抜は体操協会、北海道協会、札幌市のガイドラインを照らし合わせて開催を検討している。  
今後も感染予防に努めたい。

#### **報告事項 2 スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う規程の新設について**

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

ガバナンスコードに沿って、規程を 3 つ作ることとなった。現在は確認作業中。

**報告事項 3** スポーツ団体ガバナンスコード審査に伴う役員、評議員定数目標について  
議長の名指により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

役員構成について外部役員と女性役員の目標値を設定している。

**報告事項 4** 2020年度冬季ナショナル強化合宿について（男子体操）  
議長の名指により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

ナショナル強化選手、特別強化選手などを対象に3回ほど開催予定。

**報告事項 5** 2021W杯ドーハ大会資格獲得者について（男子体操）  
議長の名指により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

W杯ドーハ大会への派遣基準を超えた選手が多く7名が突破した。7名に加えて亀山耕平選手を派遣したい。FIGから指名をうける可能性があるのが、亀山選手と、米倉英信選手となる。

遠藤理事 宮地秀享選手は五輪資格がなくなるのか  
水鳥本部長 先日の全日本で予選通過できなかったものでルールに則りW杯には派遣しないため個人では取れない。国枠で争うこととなる。宮地選手は1位タイではあるが、タイブレークで出ることができなさそう。

**報告事項 6** 2020年度全日本個人総合トライアウト実施について（男子体操）  
議長の名指により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

各カテゴリーの結果として、48名にてトライアウトを実施予定。

**報告事項 7** 第74回全日本体操個人総合選手権・種目別選手権  
女子審判編成の変更について

議長の名指により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

審判編成を承認されていたが、審判員の勤務先で新型コロナウイルス感染者が発生、PCR検査結果がでるまで自宅待機となったため、審判を変更した。

**報告事項 8** 各種別1種審判員認定講習会・研修会の開催について  
議長の名指により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

新型コロナウイルスの影響により、開催変更を行っている。

#### 報告事項 9 審判員に対するコンプライアンス研修会実施報告について

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

ガバナンスコードに対する実施。全日本で実施した。アクティブラーニング形式。テーマは「審判員のモラル」とした。

トランポリン、新体操でも実施を検討したい。

#### 報告事項 10 2020年度 公認コーチ養成講習会 開催中止の件 一事後報告一

議長の指名により、佐久間裕司コーチ育成委員長は下記の説明を行った。

2020年度12月の講習会を中止とした。各種目の実技研修が対面で行わなければいけない。開催地での感染拡大となっているため、早めの判断で中止とした。

#### 報告事項 11 Friendship and Solidarity Competition 報告 ②

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

大会に関わるメディアの報告として、取材者数・媒体掲載数・テレビ露出状況が報告。大会で用いたバリアミスターという製品の問い合わせがメディアからきた。今後の大会では使用しないこととする。

#### 報告事項 12 大会解説報告

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

直近の大会 Friendship and Solidarity competition と第74回全日本体操個人総合選手権兼全日本種目別選手権の解説者及び放送局について報告。

#### 報告事項 13 Friendship and Solidarity Competition 概算収支報告

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

最終確定値ではないが、収入が6千万、支出が1億1千万で収支が5千万の赤字となった。一部FIGの負担をお願い出ている。

具志堅副会長 FIGがすべての責任をもつ認識。お金も含まれていると思っていた  
渡邊事務局長 日本チームの参加費用、合宿費用等は協会負担は仕方ないと思っているが、全額協会ではなく、FIGに負担を求めたい。

具志堅副会長 お金に関しては交渉しながら、協会負担を減らしてもらいたい。

渡邊事務局長 交渉したい

村木理事 大会はすばらしかったし、5千万赤字でもやる価値はあったと納得する人も多いだろうが、元々の開催の経緯からして、会計(赤字分)についてはFIGに対してきちんと請求しないといけない。来年度の世界選手権のこともあるので。

#### 報告事項 14 地域委員会からの報告事項

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

全日本高校鯖江大会を実施した。無事開催された。オンライン配信もできた。  
全国代表者会議もリモートにて開催することが決まったので、ビジネススクールの修了者も認定式はおこなわず会議内で報告発表する。  
鹿児島国体の男子新体操は再加入が1年延びた。代替大会の実施を検討願いたい。  
今後の国体、協会主催大会の流れは資料の通り。

#### その他

遠藤理事 パルクール委員会の阿部さんが委員を辞退された。

議長は、すべての議案の終了を確認し、19時30分に閉会を宣言した。

令和2年12月17日

議長 具志堅 幸司

出席理事 竹内 輝明

長谷川 洋子

山本 宜史

遠藤 幸一

水鳥 寿思

田中 光

山崎 浩子

竹村 英明

後藤 洋一

米田 功

岩瀬 史子

加納 実

加藤 裕之

川人 亜矢子

田中 理恵

田坂 利明

村木 啓造

出席監事 高橋 史安

竹田 幸夫